

蕨市消防の概要について

○庁舎概要

●蕨市消防本部・消防署

所在地 蕨市錦町5丁目1番22号

敷地面積 2,771.51 m²

構造 庁舎 鉄筋コンクリート造(耐震構造)、地上3階 陸屋根
訓練塔 鉄骨造、地上7階(補助塔 地上4階)

床面積 1,794.24 m² 1階 885.12 m² 2階 530.40 m² 3階 374.27 m² プール室 4.45 m²

●蕨市消防署塚越分署

所在地 蕨市塚越4丁目1番6号

敷地面積 398.43 m²

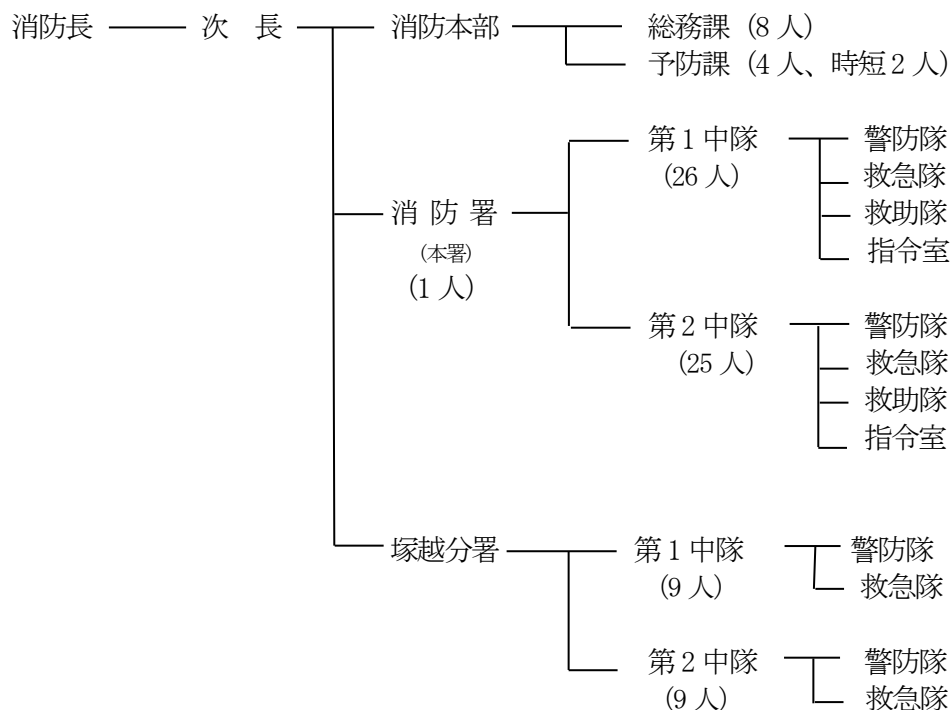
構造 鉄骨造2階(木造16.56 m²含む)

床面積 288.83 m²

○組織概要

(平成29年4月1日現在)

●常備消防 1本部 1署 1分署 職員86人



●非常備消防 1団本部 6分団 団員92人

消防団本部 (団長・副団長2人・団員1名) 4人

第1分団 (15人)・第2分団 (15人)・第3分団 (12人)

第4分団 (14人)・第5分団 (16人)・第6分団 (16人)

資料1-2

○車両概要

(平成29年4月1日現在)

No.	車両	車両説明	登録番号	初登録	経過年	製造会社	燃料
1	蕨 1	1.5トンの水槽付 火災現場直近に部署	大宮 830 す 2110	H21.10	7	日野自動車	軽油
2	蕨 2	0.6トンの水槽付 消火栓等に部署し蕨1に中継	大宮 830 さ 2602	H26.2	3	日野自動車	軽油
3	蕨 3	1.5トンの水槽付 (塚越分署に配備)	大宮 830 さ 2311	H23.11	5	日野自動車	軽油
4	蕨 4	0.7トンの水槽付 緊急消防援助隊登録車両	大宮 800 す 8788	H17.1	12	日産ディーゼル	軽油
5	救助 1	クレーン、照明装置等の 救助資機材を装備、積載	大宮 830 す 2401	H24.1	5	日野自動車	軽油
6	梯子 1	30m級のはしごを装備 10階程度まで対応	大宮 800 は 512	H16.3	13	日産ディーゼル	軽油
7	梯子 2	15m級の屈折はしごを装備 5階程度まで対応	大宮 830 さ 2110	H21.10	7	日野自動車	軽油
8	指令 1	本部員出場車両	大宮 88 せ 2199	H6.6	22	トヨタ自動車	ハイオク
9	指令 2	指揮支援車	大宮 88 に 1687	H9.7	19	日産自動車	レギュラー
10	救急 1	高規格救急車	大宮 830 せ 2710	H27.10	1	トヨタ自動車	レギュラー
11	救急 2	高規格救急車 (塚越分署に配備)	大宮 830 そ 2410	H24.10	4	トヨタ自動車	レギュラー
12	救急 3	高規格救急車	大宮 830 ね 2001	H20.1	9	トヨタ自動車	レギュラー
13	査察 1	広報・査察・火災原因調査等	大宮 800 す 9809	H17.8	11	マツダ	レギュラー
14	業務車	業務用車両	大宮 34 せ 518	H8.5	20	トヨタ自動車	レギュラー
15	業務 1	業務用車両	大宮 480 あ 6268	H17.7	11	ホンダ	レギュラー
16	業務 2	業務用車両	大宮 50 た 3179	H7.6	21	スバル	レギュラー

消防本部所管 平成28年度決算歳出の概要

(単位：千円)

区分	28年度支出済額	27年度支出済額	比較	
消 防 費	760,485	780,870	△ 20,385	△2.61%
01 常備消防費	701,454	683,767	17,687	2.59%
一般職人件費	626,852	610,424	16,428	2.69%
消防事務費	3,969	4,547	△ 578	△12.71%
消防・救急活動費	42,399	41,408	991	2.39%
職員研修費	5,623	5,485	138	2.52%
消防庁舎管理費	13,966	12,786	1,180	9.23%
消防庁舎等耐震補強	1,804	0	1,804	皆増
消防車両管理費	6,841	9,117	△ 2,276	△24.96%
02 非常備消防費	18,027	18,710	△ 683	△3.65%
消防団員活動費	16,895	17,342	△ 447	△2.58%
消防団施設管理費	345	451	△ 106	△23.50%
消防団車両管理費	787	917	△ 130	△14.18%
03 消防施設費	2,295	33,451	△ 31,156	△93.14%
消火栓等維持管理費	335	918	△ 583	△63.51%
消火栓等整備事業	1,960	1,170	790	67.52%
消防車両等整備事業	0	31,363	△ 31,363	皆減
04 水防費	707	707	0	0.0%
05 災害対策費	38,002	44,235	△ 6,233	△14.1%
一般会計歳出合計	23,288,401	23,224,389	64,012	0.28%
消防費の割合	3.27%	3.36%		△0.10%

(単位：千円)

26 年度	消防費合計の当初予算額	743,659	=	消防費の割合
	一般会計歳出合計の当初予算額	21,887,056		3.40%
25 年度	消防費合計の当初予算額	864,050	=	消防費の割合
	一般会計歳出合計の当初予算額	22,603,594		3.82%

平成28年度消防 主要事業費の概要

○常備消防費—消防・救急活動費

事業概要		決算額 (円)
・需用費	消防職員雨衣 (22人)	439,560
〃	新規採用職員被服一式 (3人)	1,242,313

○常備消防費—職員研修費

事業概要		決算額 (円)
・負担金補助及び交付金	救急救命士教育訓練事業負担金 埼玉研修所 (1人)	1,740,000
〃	初任教育研修負担金 (4人)	992,400
〃	消防大学校 幹部科 (1人)	119,000

○常備消防費—消防庁舎等耐震補強事業

事業概要		決算額 (円)
・委託料	消防庁舎等耐震診断委託料 (塚越分署)	1,803,600

○非常備消防費—消防団員活動費

事業概要		決算額 (円)
・報酬	消防団員報酬 (96人)	4,502,666
・需用費	新規消防団員被服一式 (2人)	337,824
〃	消防用ホース (12本)	401,760
〃	消防団員活動服 新基準 (39着)	707,616

消防署塚越分署建替基本計画（案）概要

1 計画の趣旨 P.1

塚越分署現庁舎は昭和 50 年に建築され、40 年以上が経過し、老朽化が顕著である。また平成 28 年度の耐震診断の結果 I_s 値が 0.178 と低く、平成 31 年度に建て替える方針とした。本計画は、塚越分署の建て替えに際し、施設の基本的な要求水準や、要する設備など建て替えに必要な諸条件を整理し、設計者への情報提供、各種調整等のために必要な事項を定める。

2 上位計画との位置付け P.1 下段

「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンを踏まえた公共施設の在り方として、「蕨市公共施設等総合管理計画」を平成 29 年 3 月に策定し、この中で「塚越分署としては、蕨市消防体制の重要な拠点の 1 つとして機能を維持するため、建替を計画的に実施する」とされた。本計画は、それらの市の上位計画を基に策定し、塚越分署の建て替えについての基本的な方向性を示すものとして位置付ける。

3 現消防庁舎（塚越分署）の現状と課題 P.2

(1) 現消防庁舎の概要

鉄骨造 2 階建（事務所部分木造平屋建） 第 1 分団併設
敷地面積 398.43 m² 延床面積 288.83 m²
配置車両 消防署：ポンプ車・高規格救急車／消防団：ポンプ車 計 3 台

(2) 現消防庁舎の課題 P.3

- ① 耐震診断の結果 I_s 値が低く、防災拠点として必要な耐震性能が不十分
- ② 庁舎が狭隘で資機材置場等が不足し、老朽化が進んでいる
- ③ 適当な訓練場所が確保されてなく、職員の訓練が困難
- ④ 女性職員用設備（更衣室、シャワー室、仮眠室、トイレ等）が無い
- ⑤ 非常用自家発電設備が無く、停電時には活動に支障がある

4 新消防分署の検討事項 P.3 下段

(1) 消防分署の位置

塚越地区のほぼ中央にあり、塚越大通りに面している出動至便な好適地に建て替えるメリットが大きいと判断し、同一敷地に建て替える。

(2) 消防分団詰所の併設

併設による不都合がなく、職員と団員が良好な関係にあり、これまでどおり同一場所で活動したいという第 1 分団の意向も踏まえ、新しい分署においても併設する。

(3) 女性用設備の整備 P.4

総務省消防庁に平成 38 年度までに職員全体の 5%を女性とする目標によると本市消防では 4 人の女性配置が必要となり、建て替えを機に整備する。

(4) 施設の規模

総 2 階または一部 3 階建で高さを抑え、諸室の必要性による延床面積を確保する。

5 新消防庁舎に求められるもの P.4 下段

(1) 基本方針

1. 地域の防災拠点として十分な耐震性能を有する建物とし、非常用自家発電設備を整備します。
2. 施設の構造は、多種多様化する災害に対し迅速・的確に対応できる、職員動線を重視した施設とします。
3. 限られた敷地面積を効率的に活用した建物とし、分署においても訓練が十分に実施できる施設とします。
4. LED 照明や人感センサー付き照明、採光窓設置など省エネ機器を採用し、環境に配慮した施設とします。
5. バリアフリーに配慮した施設とします。

(2) 個別検討事項 (新規など代表的なもののみを抜粋) P.5

(オ) 多目的室

通常時は職員研修や訓練等、多目的に使用でき、大規模災害時は非常招集職団員の待機場所としても使用できる、多目的室の設置を検討

(ク) 訓練施設 P.6

体力錬成のため鉄棒・運動器具を設置する。また、2階に訓練等で使用できる避難器具を備えたバルコニーの設置や、訓練等で利用できる屋外階段の設置を検討

(ス) トイレ

女性専用トイレを設置する。1階に障がい者も使える多目的トイレの設置を検討

(テ) 防火水槽 P.7

消防水利確保のため、敷地内に防火水槽を設置する

(ト) 井戸

平常時には施設や車両の清掃等、災害時には地域住民の飲料以外の生活用水として使用する電動または手動ポンプを擁した井戸の設置を検討

(ノ) 来客用駐車スペース

来客用に普通乗用車1台分を確保する



6 建て替え工事期間の消防体制 P.8

蕨市民公園管理棟の一部を改修し仮庁舎として使用することで、コストを抑えて、建て替え期間中の活動地区拠点とする。なお、建て替え中は公園管理事務所と併用する。

7 今後のスケジュールについて P.8 下段

平成30年度に新消防庁舎の基本・実施設計と、仮庁舎として利用するための公園管理棟の改修工事を実施。平成31年度に仮庁舎へ移転の上、現庁舎の解体を行ったうえで建設を開始する。年度内に竣工し、供用開始は平成32年度当初を予定している。

平成29年秋季全国火災予防運動実施要綱

1 目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とする。

2 防火標語（平成29年全国統一防火標語）

「火の用心 ことばを形に 習慣に」

3 実施期間

平成29年11月 9日（木）から11月15日（水）までの7日間

4 本予防運動中の重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (3) 放火火災防止対策の推進
- (4) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (5) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (6) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- (7)

5 蕨市に於いて実施する内容

- (1) 住宅用火災警報器の設置促進のため、大型店舗にてPRする
※ 平成29年11月9日(木)16時～イトーヨーカ堂錦町店に於いて実施予定
※ 防火ポスター展同時実施
- (2) 住宅用火災警報器の不適正販売の注意文を市の広報に掲載する
- (3) 蕨駅・市役所庁舎及び消防庁舎に火災予防横断幕・懸垂幕を掲げる
- (4) 防災無線により広報する
- (5) 消防車両・消防団車両・危険物運搬車両にてステッカーを貼付し、消防車両・消防団車両にて適宜広報する
- (6) 広報わらびに火災予防啓発文を掲載する
- (7) ホームページにて住宅用火災警報器の普及啓発する
- (8) わらびケーブルテレビにて火災予防運動を周知する
- (9) 別紙 住宅防火「いのちを守る7つのポイント」を活用し広報する

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント —3つの習慣・4つの対策—

3つの習慣

- **寝たばこ**は、絶対やめる。
- **ストーブ**は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- **ガスこんろ**などのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

消防委員の参加行事予定について

平成29年11月12日（日） 午前9時00分～

「埼玉県消防協会蕨戸田支部消防特別点検」 戸田市役所駐車場

平成29年12月28日（木） 午後7時50分～午後9時00分

「蕨市消防歳末特別警戒及び市長巡視」 消防署（本署・分署）・第1分団～第6分団

平成30年 1月7日（日） 午前9時00分～

「蕨市消防出初式」 消防署（本署敷地内）

平成30年 2月25日（日） 午後5時00分～午後7時00分

「蕨市消防団家族交流会」 蕨市民会館で実施

平成30年 2月下旬

「第2回蕨市消防委員会」 消防本部2階会議室